

(社) 日本原子力学会 標準委員会 システム安全専門部会  
第 18 回 PLM 分科会 (P14SC) 議事録

1. 日 時 2011 年 2 月 25 日 (金) 13:30~17:50
2. 場 所 原子力安全基盤機構 本館 9 階 9F 会議室
3. 出席者 (敬称略)  
(出席委員) 鈴木 (主査), 渡邊 (副主査), 文能 (幹事), 石井, 矢野, 下家, 猿渡,  
田村, 西山, 萬年, 利沢, 今村, 三山, 山口 (成瀬代理), 新井, 松浦,  
青山, 望月, 遊佐, 中野 (20 名)  
(欠席委員) 大木, 橘高, 皆川 (2 名)  
(常時参加者) 川内, 鈴木, 中村, 津野, 中川  
(傍聴者) 曾佐, 水崎, 副島  
(事務局) 岡村
4. 配布資料  
資料P14SC-18-1 第17回PLM分科会議事録 (案)  
P14SC-18-2 人事について (案)  
P14SC-18-3-1 PLM実施基準2011年追補版の標準委員会決議投票結果  
P14SC-18-3-2 PLM実施基準2011年追補版の標準委員会決議投票意見対応  
案  
P14SC-18-3-3 PLM実施基準2011年追補版の標準委員会決議投票意見対応  
対比表  
P14SC-18-3-4 PLM実施基準2011年追補版 (案)  
P14SC-18-4-1 PLM実施基準2008年版英訳のネイティブチェック反映案  
P14SC-18-4-2 PLM実施基準/IAEA安全基準用語比較表 (案)  
P14SC-18-4-3 PLM実施基準共通訳語表 (案)  
P14SC-18-5-1 PLM実施基準本格改定スケジュール及び分担  
P14SC-18-5-2 PLM実施基準本格改定の課題-低サイクル疲労  
P14SC-18-5-3 PLM実施基準本格改定の課題-フレット疲労  
P14SC-18-5-4 PLM実施基準本格改定の課題-電気・計装品の絶縁低下  
P14SC-18-5-5 PLM実施基準本格改定の課題-中性子照射脆化  
P14SC-18-5-6 PLM実施基準本格改定の課題-耐震安全性評価  
P14SC-18-5-7 PLM実施基準本格改定の課題-検討依頼  
P14SC-18-5-8 PLM実施基準本格改定の課題-照射誘起型応力腐食割れ  
P14SC-18-6-1 PLM実施基準のセミナー開催 (案)  
P14SC-18-6-2 システム安全合同タスクグループ活動

## 5. 議事

会議に先立ち、出席委員は代理を含めて 21 名（うち 2 名は遅れて出席）で、定足数を満足している旨確認した。

### (1) 前回議事録確認 (P14SC-18-1)

鈴木主査より、第 17 回 PLM 分科会議事録（案）が紹介され、承認された。

### (2) 人事 (P14SC-18-2)

#### ・ 常時参加者登録の承認

文能幹事より、JNES の鈴木氏、川内氏から常時参加者登録の希望がある旨紹介があり、審議の結果常時参加が承認された。

### (3) 「原子力発電所の高経年化対策実施基準（追補 2）」（案）の標準委員会書面投票結果の報告 (P14SC-18-3-1~4)

事務局より、P14SC-18-3-1 に基づいて、「原子力発電所の高経年化対策実施基準（追補 2）」（案）について、保留意見があるものの、反対意見がなかったことから、標準委員会書面投票で可決されたことの報告があった。3 月 10 日の標準委員会以降、公衆審査に諮り、6 月に制定予定。

なお、保留意見及びその他意見対応案 (P14SC-18-3-2~4) を文能幹事から提案され、原案どおり了承された。

### (4) PLM 実施基準 2008 年版の英訳 (P14SC-18-4-1~3)

文能幹事より、P14SC-18-4-1~3 に基づいて、PLM 実施基準 2008 年版の英訳版について、ネイティブチェック結果及びその反映案と IAEA 文献の用語との整合結果及びその反映案が説明され、以下のコメントを受け、反映することです了承された。

(コメント)

IAEA の文章との比較で、以下の表現は見直した方がよい。

- ・ 抽出（部位・経年劣化事象の抽出）：selection→screening
- ・ （最新知見及び運転経験の）反映：Reflection→feedback

学会事務局より、英語版はあくまで、日本語の規格を英語訳したものであるもので、正式な規格とは異なり、専門部会と標準委員会で同時に確認してもらい、6 月に制定してその後発行する予定であることが紹介された。

### (5) 高経年化対策実施基準の本格改定検討 (P14SC-18-5-1~8)

文能幹事より、P14SC-18-5-1 に基づいて、PLM 実施基準の本格改定の全体スケジュールが説明され、現時点では現状案の通りとすることが確認された。また、作業分

担については、前回コメントを反映した案が提示され、了承された。

P14SC-18-5-2～8 に基づき、役割分担の主担当の委員から、本格改定に向けた課題等の説明があり、本日抽出された課題はリストに整理し管理していくことになった。

次回までに、担当委員は課題の対応方針を検討することになった。

なお、熱時効については、本来 PWR 側の懸案だが、BWR 側の課題が挙がってきたことから、西山委員に参加してもらうことになった。全般的な課題も数件あり、できるだけ早く方向性を決める方向で調整することになった。全般の担当は、文能幹事が検討する。

#### (6) その他

・文能幹事から、PLM 実施基準のセミナー開催依頼が電事連の保全計画作成 WG 主査からあり、5 月中旬を目途に開催予定であり、委員の協力依頼があった。セミナー幹事として新井委員が選ばれた。セミナーの内容としては、PLM 実施基準の概要(主に 30 年以降の経年劣化管理)と保全計画側との取り合い部分である附属書 A について(主に運転初期からの経年劣化管理)を中心とする。

#### 6. 今後のスケジュール等

次回分科会は、別途メールで調整することになった。

以 上